

車輪脱落事故対策について

大型車のホイール・ボルト折損等による車輪脱落事故が増加しております。
車輪の脱落は、路上故障や他の交通の妨げとなるばかりでなく、歩行者や他の車両の乗員の命に係わるなど、場合によっては重大事故を引き起し、社会的信頼を損なうことにもなりません。

- ・発生件数は112件(昨年比31件増加)
- ・冬期(10月~2月)に多く発生
- ・特に東北地区で多く発生
- ・車輪脱着作業後1ヶ月以内に多く発生
- ・タイヤ交換作業が集中する11月に交換した車両の事故が多い
- ・車輪脱落箇所は左後輪に集中

安全確保のために日常から、正しい点検・整備の実施をお願いいたします。

車輪脱落を防ぐ、4つのポイント！

- ・確実な締め付け → 規定トルクで確実な締め付け
- ・増し締めの実施 → 50~100km走行後に確実な増し付け
- ・日常の点検 → 一日一回の日常点検
- ・ホイールの履き替え → ホイールに適合したボルト、ナット

ホイールやホイールボルト・ナットの錆に注意！

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは交換してください。

<ホイールナット締め付けトルク数値一覧>

●ISO 10穴

メーカー名	車軸メーカー	締め付け方式		締め付けトルク(N・m)			ナット2面幅	
		ウェット	ドライ	550~600	600~660	600~680	33mm	32mm
小平産業	ソーシン	○		○			○	
	ベンツ		○		○			○
	HEND RICKSON		○			○	○	
	BPW		○		○		○	

●JIS 8穴

メーカー名	車軸メーカー	締め付け方式		締め付けトルク(N・m)			ナット2面幅	
		ウェット	ドライ	540~590	600~660	600~680	33mm	32mm
小平産業	ソーシン	○		○			○	

※締め付け方式『ドライ方式』の場合は、潤滑剤を塗布せず締め付けをする方式ですので油分は厳禁です。

落ちない!! 車輪キャンペーン ● 大型車の車輪脱落事故0へ
正しい作業が、防ぐ事故。

徹底しよう! 車輪脱落を防ぐ、4つのルール

お きまりのトルクで
きちんと締め付けて

規定のトルクで確実な締め付けを
締め付け方には、球面車で締める
JIS方式と平直車で締めるISO方式
があります。[規定の締め付けトルク]で
確実に締め付けます。

※ホイールナットが緩むと、車輪が脱落する危険があります。
また、タイヤの摩耗が早くなり、燃費も悪くなります。

ち ゃんと増し締め
交換後

50~100km走行後に、しっかり増し締めを
締め付け後は初期なじみによってホイールナットの締め付けが低下、
50~100km走行後を目安に、増し締めしてください。

※JIS方式は、アルミホイールは必ず増し締めを
行ってください。また、ISO方式は、アルミホイールは必ず増し締めを
行ってください。

な っと見て ボルト触って
ざあ出発!

一日一回の
日常点検を
走行前にホイールボルト、ナット
を目で見て確認してください。
異常を発見したらすぐ
整備工場へ。

い や待てよ? ボルトと
ナットは適正か?

ホイールに適合したボルト、ナットを
スターールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合する
ホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ずご確認ください。

※JIS方式は、アルミホイールは必ず増し締めを
行ってください。また、ISO方式は、アルミホイールは必ず増し締めを
行ってください。

! 左後輪に注意!
車輪脱落の多くが、異が
つぎに「左後輪」で発生し
ています。左後輪の点検は
重点的に行ってください。

ホイールやホイールボルトの錆に注意!
ホイールやホイールボルト、ナットの錆は、
錆による互いの車輪脱落が発生して
います。新しい錆のあるホイールやホイ
ールボルト、ナットは、交換してください。

詳しくは、
こちらから!

株式会社 日本自動車工業会 自動車部 車輪安全対策課 車輪安全対策課長 田中 浩二
〒100-8342 東京都千代田区千代田 1-3-3 日本自動車工業会 5階
TEL: 03-5822-2222 FAX: 03-5822-2223
E-MAIL: info@jama.or.jp
※本冊子は、日本自動車工業会が主催する「車輪安全対策」の一環として発行されています。

タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる
車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、[車載の「取扱説明書」]や[本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ4つのポイント」]、
[下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意事項」]などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず[規定の締め付けトルク]で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り回し方法をご確認ください。適切なタイヤ交換作業の実務をお願いします。

注意 ホイールナットの締め付け不足、アルミホイール、
スターールホイールの取り回しミス (締め付け、径長の誤差)

その他、ホイールナット締め付け時の注意事項

ホイールボルト、ナットの潤滑について

JIS方式 ホイールボルト、ナットのねじ部と球面部
(球面部)にエンジンオイルなど指定の潤滑
剤を塗布してください。

ISO方式 ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナット
とワッシャーとの球面部にエンジンオイル
など指定の潤滑剤を塗布してください。ナットの
後面(ディスクホイールとの当たり面)に
は塗布しないでください。
※ホイールの塗布防止のため、ハブのはめ合い部
(インロー)にグリスを塗布してください。

ディスクホイール、ハブ、ホイール
ボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付前、ホイールナット当たり
面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い
部)に、ホイールボルト、ナットの溝やゴミ、泥
など加減油などを取り除きます。

ホイールナット
締め付け時の
注意点だよ!

●ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面車で締めるJIS方式と、平直車で締めるISO方式があります。
また[輸出ガス規制・ボルト新規格(新規格)大型車]から、左後輪・右前輪は「JIS方式」を採用しました。

ホイール締め付け方式	ISO方式(8穴、10穴)	JIS方式(8穴、6穴)
ホイールサイズと ボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	17.5(19.5の一部)インチ: 6本(PCD222, 25mm) 19.5, 22.5インチ: 8本(PCD285mm)
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左前輪: 右ねじ(※-ISO方式) 右前輪: 右ねじ 左前輪: 左ねじ(※-ISO方式)	前輪: M24(または20)後輪: M20, M30 右前輪: 右ねじ 左前輪: 左ねじ
ホイールナット 使用規格	平直面(ワッシャー付き): 1種類 33mm(※-ISO方式の一部は32mm)	球面部: 6種類 41mm/21mm
ダブルタイヤ	一つのナットで両輪締め	インナー、アウトナーナットそれぞれで締め付け
ホイールのセンタリング	ハブローラー	ホイール球面部
アルミホイールの履き替え	ボルト交換	ボルトおよびナット交換

後輪ダブルタイヤの
締め付け構造

ホイールボルト 平直面 ホイールナット
ホイールボルト 球面部 インナーナット アウトナーナット

詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください。 http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_tall_off/